

さっぽろ読書・図書館館長2022の取組項目の進捗状況（令和6年度（2024年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和6年度（2024年度）の取組結果（成果）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和7年度（2025年度）の取組目標	
◆取組の方向性◆ ④ 読書を支える多様な活動を支援する					
9 読書活動の推進に取り組む人との連携					
18	市民文化センター	■読書障がいのある方が利用する図書の製作するボランティアの育成 【新規】	点訳・盲訳・拡大字本のボランティアの養成講座を実施し、読書障がい者のいる方が利用する図書の製作数を増加させます。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○点訳ボランティア養成報告書 令和6年8月29日～令和7年10月23日（全5回） 開催中 【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○点訳ボランティア養成講座 令和6年8月29日～令和7年10月23日（全5回） 開催中 ○録音図書普及・校正ボランティア養成講座 令和7年6月6日～令和7年11月28日（全24回） 開催予定 ○拡大字本製作ボランティア養成講座 令和7年11月4日～令和8年3月24日（全15回） 開催予定	(A)
		達成度	A		
19	保健福祉局総務部	■読み聞かせボランティア活動センターでは、読み聞かせボランティアの育成・支援の一環として「子どもへの読み聞かせボランティア」研修を行っている。今後もボランティアの質向上及び新たなボランティアの養成に努めます。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○昨年に引き続き講座を実施し、ボランティアの質向上及び新たなボランティアの養成に努めた。 ○実施回数>全2回（各回とも全1日課程、定員30名） ①: R6.5.21、②: R6.9.19 ※本の読み聞かせボランティア養成講座を入門種と応用種に分けて2回実施した。 ③入門種は令和6年5月21日（水）10時～12時に開催し、28名が参加した。 ④応用種は令和6年9月19日（木）10時～12時に開催し、20名が参加した。		
		達成度	A	【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○令和7年度も引き続き講座を実施し、ボランティアの質向上及び新たなボランティアの養成に努めている。 ○実施予定回数>全2回（各回とも全1日課程、定員30名） ①: R7.5.20、②: R7.10.7	
10 読書を支える人同士のつながりの醸成					
20	地域支援係	■ボランティア連携の支援 【新規】	読み聞かせボランティア・個人ボランティア向けに情報共有を呼びかけ、各ボランティアの読み聞かせや、様々な取組の共有化を図るほか、ボランティア同士での相互連携を図っていく機会づくりを検討します。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○中央図書館で児童向けのおはなし会を行っているボランティア3団体が交流会を開催し、活動内容の報告やおはなし会の実施を行った。参加者からは他の団体の活動を知る良い機会となったと好評を得た。	
		達成度	A	【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○令和6年度（2024年度）に引き続き、ボランティアの読み聞かせや取組の情報共有を図るほか、ボランティア同士での相互連携を図る機会づくりを支援する。	
20	えほん図書館	■ボランティア連携の支援 【新規】	読み聞かせボランティア・個人ボランティア向けに情報共有を呼びかけ、各ボランティアの読み聞かせや、様々な取組の共有化を図るほか、ボランティア同士での相互連携を図っていく機会づくりを検討します。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○おはなし会では読み聞かせボランティア団体に対し、おはなし会等の行事の開催場所を提供しており、各団体の行事実施予定については、毎月「えほんしよかんだより」に掲載して登録ボランティア団体及び個人ボランティア「えほん図書館ポスター」宛てに送付して情報共有を図った。 ○ボランティア同士の情報共有や相互連携等についての意向を聴取するためのアンケートを実施した。	
		達成度	A	【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○令和6年度の取組を継続する。 ○アンケートの結果を精査しボランティア同士の情報共有や相互連携等のあり方について検討を行う。	
基本方針2 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援					
◆取組の方向性◆ ① あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる					
子どもが身近な地域で読書に親しむ環境の充実					
21	子ども未来子ども育成係	■児童会館の本の貸出やボランティア・児童会館職員などによる読み聞かせを行います。	児童会館の本の貸出やボランティア・児童会館職員などによる読み聞かせ活動を実施し、子どもたちの読書への関心を高めることに努めた。また、子どもたちの読書活動の環境を整えることを目的に、利用者の意見を参考にして図書の購入を求めた。 ・ボランティアによる実施事業 2,006回 参加人数 49,091人 ボランティア延べ人数 3,591人 ・児童会館主催による実施事業 15,627回 参加人数 246,207人		
		達成度	A	【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○ボランティアや児童会館職員、児童による読み聞かせを継続する。また、読書活動により楽しみを持ってもらうよう、積極的に子ども市民の読み聞かせの機会を設けるとともに、読書の充実を図るなど環境整備について計画的に取り組む。	
22	総務部	■開放図書館運営・振興活動の促進	開放図書館において、地域ボランティアによる読書推進・振興活動などの環境整備や、子どもを中心とした読み聞かせなどの行事を企画・実施します。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○12回の開放図書館で、開放時間を始めると3,515名のボランティアが活動し、図書の貸出・返却等の基本業務や、書庫表示・館内整備、無料のレファレンスサービスなどを行った。そのほか、学校ごとに工夫し、読み聞かせや工作会、周年記念イベントなどの行事を計2,512回実施した。	◆学校図書館地域開放事業札幌市公式ホームページ https://www.city.sapporo.jp/kojiku/shogakuyaku/renkei/toshu_kaiyaku.html
		達成度	A	【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○引き続き、地域のボランティアが簡易的なレファレンスサービスを含む基本業務を行うほか、児童向けの読み聞かせを中心とした行事を実施する。	読書が好きで子どもとの割合
23	学校教育部	■札幌市の児童生への読書に関する基礎調査	児童や生徒の読書に関する各基礎調査の結果より、子どもの読書に関する実施の把握に努めます。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○「札幌市の児童生への読書に関する基礎調査」は令和5年度以降実施していないため、「全国学力・学習状況調査報告書」を基に、実施（学校図書館・学校図書室や公共図書館の利用、読書室に関するものなど）を把握し、全国学力・学習状況調査報告書【令和6年度児童生徒調査結果（札幌市）】を資料22-1案にある本の量（雑誌、新聞、教科書は除く） ⇒【小6】39.5% ⇒【中2】36.9% ・資料22-1新聞を読んでいる頻度 ①ほぼ毎日、②週に1～3回、③月に1～3回 に回答した割合の合計 ⇒【小6】22.1% ⇒【中2】15.5% ○札幌市教育委員会の独自調査として、小中学校に対し「札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）に基づくアンケート」、高等学校に対し「札幌市教育振興基本計画」における成果指標の現状把握に係るアンケートを実施し、「読書が好きで子どもとの割合」を把握した。 （※でははまる、どちらかと言えば当てはまる に回答した割合の合計） ⇒【小5】73.1% ⇒【中2】69.7% ⇒【高2】69.4% 【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○令和7年度も「全国学力・学習状況調査報告書」及び「札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）」に基づくアンケート、「札幌市教育振興基本計画」における成果指標の現状把握に係る調査」を基に、子どもの読書に関する実施把握に努めるとともに、令和6年度の結果と比較する。	
		達成度	A		

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和6年度（2024年度））

[illegible]

さっぽろ読書・図書館プラン2022の取組項目の進捗状況（令和6年度（2024年度））

No.	担当	具体的事業	具体的な取組内容	令和6年度（2024年度）の取組結果（成果）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）
				令和7年度（2025年度）の取組目標	
32	子ども未来局 子育て支援部	■絵本基金「子ども未来文庫」事業	企業や団体、市民の皆様からの絵本の寄贈を受け、絵本基金「子ども未来文庫」の絵本として子育て支援施設センター、各区保育・子育て支援センター、市立保育所、各区こどもプレイフォメーションなどにおいて子どもが絵本とふれあう機会を広げていきます。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○複数の企業より前年度に引き続き寄贈の申し込みがあり、札幌市所管の子育て支援施設、札幌市立保育園等所で絵本の充実を図ることができた。 ・令和5年度寄贈絵本 14件 1,065冊 ・令和6年度寄贈絵本 17件 964冊 【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○ホームページやさっぽろCSRインフォメーション等の広報を活用し、周知する。	
		達成度	A		
		4.親子で利用できる図書館や居場所としての図書館の研究			
33	えほん図書館	■乳幼児・保護者向け行事の実施	乳幼児が図書館を利用するきっかけとなる機会や親子で絵本に親しむ場を提供するため、子どもの発達段階に応じたおはなし会やワークショップ等の行事を実施します。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○年経別おはなし会を実施した。 ・0歳児向け（毎週火曜） 48回開催 866人参加 ・1〜2歳児向け（毎週火曜） 49回開催 751人参加 ・3歳児以上向け（毎月第4土曜） 13回開催 411人参加 ○おはなし会やわらわの会を実施した。2回開催 88人参加 ○ガラスにお絵かきワークショップを実施した。2回開催 36人参加 ○おひくるみおとまり会を実施した。2回開催 46人参加 ○クリスマスカー作りワークショップを実施した。1日2回開催 46人参加 【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○年経別おはなし会を実施する。通年開催 ○絵本とわらわの会を実施する。2回 ○ガラスにお絵かきワークショップを実施する。2回 ○クリスマスワークショップを実施する。2回 ○おひくるみおとまり会を実施する。2回	
		達成度	A		
		5.子どもが読書を楽しむための環境づくり			
34-①	地域支援係	■「親子で利用したい図書館」の研究【新規】	子どもと図書館へ行きたいと思っても「誰かとして他の人に迷惑をかけるかもしれない」と躊躇する子育て世代に対して子どもと一緒に楽しめるおしゃべりタイムなど「親子で利用したい図書館」の調査研究を進めます。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○令和5年10月に中央図書館にオープンした0〜3歳向けの絵本と育児室を同じスペースに配置したコーナー「PAPA MAMA BOOKS」の観覧や備品の充実を図った。また、来館者向けアンケートにて、「PAPA MAMA BOOKS」に対する満足度について調査した。 ○「PAPA MAMA BOOKS」コーナー内に、読み聞かせ動画や電子図書館の幼児向け読み放題パックの案内表示を行うなど、引き続き着書や環境の充実を図る。併せて、利用状況等を検証しながら親子で利用したい図書館づくりを進める。	
		達成度	A		
		6.読書活動の活性化と読書習慣の定着			
34-②	企画推進係	■「親子で利用したい図書館」の研究【新規】	子どもと図書館へ行きたいと思っても「誰かとして他の人に迷惑をかけるかもしれない」と躊躇する子育て世代に対して子どもと一緒に楽しめるおしゃべりタイムなど「親子で利用したい図書館」の調査研究を進めます。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ※「親子で利用したい図書館」に関しての調査研究は、令和4〜5年度に図書館の将来の在り方についての調査研究の中で実施済。 ○将来的な図書館の改修や整備にあわせて食話可能なエリアと静読エリアを区分ける等、親子で安心して利用できる図書館について検討を継続する。 ○「（仮称）さっぽろ読書・図書館プラン2027」策定にむけた市民アンケート調査において、引き続き、子どもの読書活動の状況や図書館利用に関するニーズを調査する。	
		達成度	—		
		◆取組の方向性◆ ⑫ 市民が子どもの読書活動推進の意識を共有する			
図書館に関する保護者への啓発					
35-①	地域支援係	■家庭読書の普及・啓発	乳幼児から家庭で読書を楽しむ機会を増やす取組として、小学校入学までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を実施します。また、子ども読書の日などに合わせて、読み聞かせや展示、映画会などの行事を行うとともに、読書の日の周知及び読書活動の啓発に努めます。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○子ども読書の日（4月23日）前後及び子どもの読書週間（4月23日〜5月12日）にあわせて、令和6年度子どもの読書活動特別行事「おはなはなの花たん（4月16日〜5月19日）」を企画し、各図書館でおはなし会や特別展示などの行事を行った。 ※「めざせ！えほんマイスター」についてはNo.35-②参照 【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○令和7年度子どもの読書週間特別行事「おはなはなの花たん（4月16日〜5月19日）」を各図書館で実施し、引き続き家庭読書の普及・啓発を図る。	
		達成度	A		
		7.読書活動の活性化と読書習慣の定着			
35-②	えほん図書館	■家庭読書の普及・啓発	乳幼児から家庭で読書を楽しむ機会を増やす取組として、小学校入学までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を実施します。また、子ども読書の日などに合わせて、読み聞かせや展示、映画会などの行事を行うとともに、読書の日の周知及び読書活動の啓発に努めます。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○「めざせ！えほんマイスター」を継続実施した。 ・6年度新規登録者 482人（累計4,183人） ・6年度半期達成者 122人（累計873人） ※登録数を基に、子ども読書の日である4月23日を含む4月20日から5月21日まで新規登録者キャンペーンを実施した。期間中の新規登録者は74人で、平常時よりも増加した。 【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○めざせ！えほんマイスター」を継続実施。6年度も子ども読書の日である4月23日を含む4月20日から5月21日まで新規登録者キャンペーンを実施予定。	
		達成度	A		
		8.読書活動の活性化と読書習慣の定着			
36	学校教育係	■保護者に向けた読書に関する情報発信	幼児が絵本や図鑑などに親しみ、読み手と心を通わせる楽しさや味わうことができてくると、読書活動に対して幼児期の読書に関する情報発信や保護者自身が読書に関心をもち読書活動を市立幼稚園で行います。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○幼児に絵本に触れることの大切さを保護者が実感できるように長期休業中に親子で絵本を読むきっかけとなる資料を企画して作成した。印象に残った絵本・お気に入りの絵本、選んだ理由、様子などについて資料に記入してもらい、長期休業明けに各家庭のエリアに共有できるようにしたことで絵本への関心を高めることができた。 ○絵本ボランティア活動の場で保護者による幼児への読み聞かせ体験に取り組んでいる園がある。 ○絵本の貸出日を定例したり、貸し取り入れている絵本を互換に提示したりし、親子で絵本に触れる機会を拡大した。 【令和7年度（2025年度）取組目標】 ○読み聞かせの良さ、様々な絵本の情報、読み聞かせ時の子どもの様子や反応を家庭へ情報発信し、親子で読書を楽しむ機会をつくる。	
		達成度	A		
		9.読書活動の活性化と読書習慣の定着			
37	地域支援係	■保護者に向けた読書に関する情報発信	乳幼児・小学生の読書者と共に、図書館情報職員が絵本読み聞かせの基本に則って、保護者が読み聞かせの重要性を学ぶ機会を提供します。	【令和6年度（2024年度）取組結果】 ○絵本講師の上野知子氏による市民向け絵本読み聞かせ講座「がんばらなくても続けられる絵本で子育て〜1人ひとくき〜」から「読んでみたい」に変わる絵本の魔法〜」を開催した。親子連れでの参加を可能とし、46名が参加した。 ○令和6年度（2024年度）に引き続き、市民向け読み聞かせ講座を開催し、保護者が読み聞かせの重要性を学ぶ機会を提供する。	
		達成度	A		